

四半期報告書

(第165期第2四半期)

自 平成24年4月1日

至 平成24年6月30日

静岡瓦斯株式会社

E04516

第165期第2四半期（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

四 半 期 報 告 書

- 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

静岡瓦斯株式会社

目 次

	頁
第165期 第2四半期報告書	
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	17
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	18
四半期レビュー報告書	
確認書	

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第165期第2四半期(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

【会社名】 静岡瓦斯株式会社

【英訳名】 SHIZUOKAGAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 戸野谷 宏

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【電話番号】 054(284)4141(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【電話番号】 054(284)4141(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第164期 第2四半期 連結累計期間	第165期 第2四半期 連結累計期間	第164期
会計期間	自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高 (百万円)	62,003	74,298	128,171
経常利益 (百万円)	2,752	5,357	3,947
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,284	2,888	1,743
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,515	3,560	2,173
純資産額 (百万円)	56,931	57,883	55,719
総資産額 (百万円)	106,974	111,148	107,432
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	16.86	39.49	23.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	45.9	45.4	44.4
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	6,149	6,212	9,686
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△3,611	△5,362	△9,211
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△1,454	△865	△776
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	1,816	418	432

回次	第164期 第2四半期 連結会計期間	第165期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失(△) (円)	△4.22	7.08

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第164期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間の売上高は、原料費調整制度のタイムラグによる単価調整等により、前年同期に比べ19.8%増の74,298百万円となりました。

また、売上高の増加が原料価格上昇等による売上原価の増加を上回ったことなどから、営業利益は前年同期に比べ99.3%増の5,237百万円、経常利益は94.7%増の5,357百万円、四半期純利益は125.0%増の2,888百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

① ガス

ガス販売量は、工業用で新規大口物件の開拓を進める一方、電力需給調整対応による需要があった昨年と比べ既存需要家設備の稼動が減少したことなどから、前年同期に比べ0.9%減の716百万m³となりました。

ガス売上高は、ガス販売量が減少したものの、原料費調整制度のタイムラグにより原料価格の上昇が当期のガス料金に反映されたことなどから、前年同期に比べ23.1%増の64,636百万円となりました。一方、原料価格の上昇等により売上原価も増加しましたが、売上高の増加がこれを上回ったことなどから、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ80.3%増の6,195百万円となりました。

② LPG・その他エネルギー

LPG販売は、販売量の増加等により、売上高は前年同期に比べ3.9%増の6,426百万円となりました。一方、費用面では、原料使用量の増加や原料価格の上昇等により売上原価が増加したことなどから、セグメント利益（営業利益）は9.8%減の577百万円となりました。

③ その他

「エネルギー」を核とした地域密着型のエリア営業体制の推進によりリフォーム事業の売上が増加したことなどから、売上高は前年同期に比べ5.9%増の5,821百万円となりました。一方、昨年5月に稼動したシステムの償却による影響等から、セグメント損益（営業損益）は24百万円減の5百万円の損失となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,715百万円増の111,148百万円となりました。固定資産は、既存設備の減価償却が進む一方で、静浜幹線関連への投資を行ったことや株式市況の影響により投資有価証券の評価額が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ331百万円増の85,636百万円となりました。流動資産は、原材料が原料受入のタイミングによる在庫量の増加や原料価格の上昇等により増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3,384百万円増の25,512百万円となりました。

負債は、既往の長期借入金を返済する一方で、新規設備資金や運転資金を調達したことや未払法人税等が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,551百万円増の53,264百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,164百万円増の57,883百万円となり、自己資本比率は45.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14百万円減の418百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は6,212百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は6,149百万円の収入）となりました。これは、減価償却前利益は10,792百万円となりましたが、原料在庫量の増加や原料価格の上昇等によりたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は5,362百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は3,611百万円の支出）となりました。これは、静浜幹線建設工事をはじめとする投資を行ったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は865百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は1,454百万円の支出）となりました。これは、新規設備資金や運転資金を調達する一方で、既往の長期借入金の返済や配当金の支払による支出があったことなどによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	76,192,950	76,192,950	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 500株
計	76,192,950	76,192,950	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	—	76,192,950	—	6,279	—	4,098

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目13番1号	4,687	6.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	4,248	5.57
東京瓦斯株式会社	東京都港区海岸一丁目5番20号	4,000	5.24
鈴与商事株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11番1号	3,491	4.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	3,325	4.36
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目3番1号	3,203	4.20
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほコーポレート銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社(注)1	東京都中央区晴海一丁目8番12号	2,820	3.70
株式会社静岡銀行	静岡県静岡市葵区呉服町一丁目10番地	2,682	3.52
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11番1号	2,543	3.33
JFEエンジニアリング株式会社	東京都千代田区大手町二丁目6番2号	2,336	3.06
計	—	33,336	43.75

(注) 1 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほコーポレート銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社」の持株数2,820千株については、委託者である株式会社みずほコーポレート銀行が議決権の指図権を留保しております。

2 上記のほか、当社所有の自己株式3,052千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合4.00%)があります。

3 平成24年1月16日付で次の法人から大量保有報告書(報告義務発生日平成24年1月9日)が提出されておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	726	0.95
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	2,666	3.50
三菱UFJ投信株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	185	0.24

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,052,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 73,105,000	146,210	—
単元未満株式	普通株式 35,950	—	一単元(500株)未満の株式
発行済株式総数	76,192,950	—	—
総株主の議決権	—	146,210	—

② 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 静岡瓦斯株	静岡県静岡市駿河区八幡 一丁目5番38号	3,052,000	—	3,052,000	4.00
計	—	3,052,000	—	3,052,000	4.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	24,768	22,808
供給設備	30,363	29,549
業務設備	3,818	3,831
その他の設備	4,451	4,366
建設仮勘定	5,869	7,961
有形固定資産合計	69,270	68,518
無形固定資産	1,998	1,963
投資その他の資産		
投資有価証券	6,495	6,952
長期貸付金	5,554	6,247
繰延税金資産	1,199	1,093
その他投資	1,007	1,087
貸倒引当金	△222	△226
投資その他の資産合計	14,035	15,154
固定資産合計	85,304	85,636
流動資産		
現金及び預金	455	440
受取手形及び売掛金	11,192	10,874
商品及び製品	314	356
原材料及び貯蔵品	5,908	9,958
繰延税金資産	1,382	1,380
その他流動資産	2,937	2,559
貸倒引当金	△63	△56
流動資産合計	22,127	25,512
資産合計	107,432	111,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	26,407	26,550
繰延税金負債	2	1
退職給付引当金	2,831	2,546
ガスホルダー修繕引当金	94	94
負ののれん	490	373
その他固定負債	574	448
固定負債合計	30,401	30,016
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,613	4,716
買掛金	2,681	3,577
短期借入金	7,532	8,816
未払金	1,468	1,359
未払法人税等	1,508	2,417
賞与引当金	434	443
その他流動負債	2,072	1,917
流動負債合計	21,311	23,248
負債合計	51,713	53,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	36,815	39,374
自己株式	△1,550	△1,551
株主資本合計	46,132	48,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,524	1,779
繰延ヘッジ損益	△5	—
その他の包括利益累計額合計	1,519	1,779
少数株主持分	8,067	7,411
純資産合計	55,719	57,883
負債純資産合計	107,432	111,148

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	62,003	74,298
売上原価	47,331	56,976
売上総利益	14,671	17,321
供給販売費及び一般管理費	※1 12,044	※1 12,083
営業利益	2,627	5,237
営業外収益		
受取利息	50	73
受取配当金	85	75
負ののれん償却額	117	118
雑収入	195	147
営業外収益合計	448	414
営業外費用		
支払利息	298	268
雑支出	24	25
営業外費用合計	323	294
経常利益	2,752	5,357
特別利益		
固定資産売却益	77	—
特別利益合計	77	—
特別損失		
投資有価証券評価損	233	—
特別損失合計	233	—
税金等調整前四半期純利益	2,595	5,357
法人税等	910	2,057
少数株主損益調整前四半期純利益	1,685	3,300
少数株主利益	401	411
四半期純利益	1,284	2,888

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,685	3,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	254
繰延ヘッジ損益	9	5
その他の包括利益合計	△170	259
四半期包括利益	1,515	3,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,113	3,149
少数株主に係る四半期包括利益	401	411

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,595	5,357
減価償却費	5,874	5,434
負ののれん償却額	△117	△118
有形固定資産除却損	29	33
投資有価証券評価損益 (△は益)	233	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△191	△284
ガスホルダー修繕引当金の増減額 (△は減少)	7	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	9
受取利息及び受取配当金	△135	△148
支払利息	298	268
有形固定資産売却損益 (△は益)	△77	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△595	312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△616	△4,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,244	857
未払又は未収消費税等の増減額	966	△298
その他	△776	△41
小計	6,245	7,292
利息及び配当金の受取額	135	149
利息の支払額	△303	△270
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	70	△959
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,149	6,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13	△13
定期預金の払戻による収入	13	13
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,770	△4,563
有形及び無形固定資産の売却による収入	83	11
投資有価証券の取得による支出	△2	△120
貸付けによる支出	△810	△800
貸付金の回収による収入	106	106
工事負担金等受入による収入	23	—
その他	758	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,611	△5,362
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△561	1,284
長期借入れによる収入	2,150	2,550
長期借入金の返済による支出	△2,299	△3,304
配当金の支払額	△308	△330
少数株主への配当金の支払額	△434	△1,064
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,454	△865
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,082	△14
現金及び現金同等物の期首残高	734	432
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,816	418

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(税金費用の計算)
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

下記関係会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
静浜パイプライン(株)	3,400百万円 静浜パイプライン(株)
	4,235百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
給料	2,475百万円	2,405百万円
減価償却費	3,269百万円	3,163百万円
賞与引当金繰入額	402百万円	399百万円
退職給付費用	338百万円	337百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	1,839百万円	440百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	△22百万円	△22百万円
現金及び現金同等物	1,816百万円	418百万円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月24日 定時株主総会	普通株式	304	4.0	平成22年12月31日	平成23年3月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月4日 取締役会	普通株式	342	4.5	平成23年6月30日	平成23年9月1日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	329	4.5	平成23年12月31日	平成24年3月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月8日 取締役会	普通株式	329	4.5	平成24年6月30日	平成24年9月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	52,218	5,989	58,207	3,795	62,003	—	62,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	282	195	478	1,699	2,178	△2,178	—
計	52,501	6,185	58,686	5,494	64,181	△2,178	62,003
セグメント利益	3,435	640	4,076	18	4,094	△1,466	2,627

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,466百万円には、セグメント間取引消去136百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,603百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	64,279	6,253	70,533	3,764	74,298	—	74,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	356	172	528	2,056	2,584	△2,584	—
計	64,636	6,426	71,062	5,821	76,883	△2,584	74,298
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,195	577	6,773	△5	6,767	△1,529	5,237

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,529百万円には、セグメント間取引消去119百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,649百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益	16円86銭	39円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (百万円)	1,284	2,888
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	1,284	2,888
普通株式の期中平均株式数 (株)	76,141,963	73,140,772

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年8月8日開催の取締役会において、第165期の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当総額	329百万円
1株当たり中間配当額	4円50銭
支払請求権効力発生日 並びに支払開始日	平成24年9月3日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月8日

静岡瓦斯株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 浅野 裕史 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 篠原 孝広 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている静岡瓦斯株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、静岡瓦斯株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【会社名】 静岡瓦斯株式会社

【英訳名】 SHIZUOKAGAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 戸野谷 宏

【最高財務責任者の役職氏名】 —

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長戸野谷宏は、当社の第165期第2四半期(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。